

令和2年度 杜の都のエコ・スクール活動報告

| | | | | | |
|------|-----|-----|------------|-----|-------|
| 学校番号 | 126 | 学校名 | 仙台市立泉松陵小学校 | 校長名 | 早坂 順子 |
|------|-----|-----|------------|-----|-------|

1 テーマ

5年 総合「けやき山活動」

2 取組の実際

仙台市立泉松陵小学校は、仙台市の北東部に位置する松陵団地の中にあります。学区の東部は県民の森、北部は富谷市の丘陵地帯に接していて、森に囲まれた静かな環境です。

校内には「けやき山」という山があり、夏は虫取り、冬はそり遊びなどの場となり、子供たちにとってよい遊び場となっています。

今年度の5年生の総合のテーマは、「世界の一員として陸の自然を守ろう」です。SDGsの「目標15陸の豊かさを守ろう」を目指す取組として行いました。森林についての学習活動は、事前に野外活動で泉ヶ岳について学びました。普段見聞きする河川が泉ヶ岳から始まっていること、多様な生態系が森林の中で共存していること、自然の雄大さなどを体験的に学習しました。

自然林である泉ヶ岳の次は、人工林であるけやき山について学習しました。けやき山は毎年5年生が総合的な学習の時間を通して整備しています。

まずは、けやき山の現状を知り、自分たちで行っていききたい活動について考えました。活動をする上で子供から出されたことは、「自然をもっと増やしたい。」「階段や道の整備を行いたい。」「全校児童が親しみやすい山にしたい。」という意見です。これらの意見を集約し、以下の8つの活動を行いました。

除伐、花植え、鳥の巣箱作り、階段作り、ベンチ作り、道の整備、ドングリの植樹、木を植えるグループです。活動をする上で何が大切なのかを考え、自然と人間の共存を目指す活動を行いました。

活動にはゲストティーチャーとして「森林インストラクター協会」の皆様をお招きし、活動に必要な様々な知識をご教示いただきながら学習を進めました。どの活動も人と自然の共存につながっており、「持続可能なけやき山活動」を行うことができたと考えています。



3 取組の成果

けやき山での実践を通して学んだことは、けやき山という人工林は、手を入れすぎてしまうと生態系が崩れてしまうこと、手を入れないと荒れ果ててしまうということです。人間と自然の共存を目指すことで、SDGs「目標15陸の豊かさを守ろう」につなげることができました。今年度コロナの影響で活動に制限がかかってしまいましたが、調べてきたことを体験を通して理解するための大切な活動となりました。

今後、けやき山活動について、「世界の一員として」自分たちが学んできたことを保護者に発表することで学びを更に深める予定です。